

SialoCapper-ID Kit (P/N225-42160-58) は、
Reagent A、Reagent B、Reagent C を含む

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名: Reagent A (SialoCapper-ID Kit)
P/N 225-42160-58-A
[イソプロピルアミン塩酸塩+1-ヒドロキシベンゾトリアゾール水合物inジメチルスルホキシド]
会社名: 株式会社島津製作所
住所: 〒604-8511 京都市中京区西ノ京桑原町1
担当部門: 分析計測事業部 ライフサイエンス事業統括部 MSビジネスユニット
電話番号: 075-823-1334
FAX 番号: 075-811-8187
用途及び使用上の制限: 研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS 分類: 引火性液体: 区分 4
皮膚腐食性及び皮膚刺激性: 区分 2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分 2A

GHS ラベル要素:



注意喚起語: 警告
危険有害性情報: H227 可燃性液体
H315 皮膚刺激
H319 強い眼刺激
注意書き: **【安全対策】**
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。
取扱い後は手をよく洗うこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
【応急措置】
皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。
眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。
汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
火災の場合: 消火するために水スプレー(水噴霧)、二酸化炭素(CO2)、泡、粉末消火剤、砂を使用すること。
【保管】
換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
【廃棄】
内容物/容器を地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。
【その他】
ほかの危険有害性: データなし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物
化学名(または一般名): ・イソプロピルアミン塩酸塩

含有量:15-23%
CAS No. 15572-56-2
官報公示整理番号 化審法:(2)-131 安衛法:N/A
・1-ヒドロキシベンゾトリアゾール水合物
含有量:5.0-9.0%
CAS No. 80029-43-2
官報公示整理番号 化審法:(5)-3579 (5)-3603 安衛法:8-(3)-350
・ジメチルスルホキシド
含有量:68-80%
CAS No. 67-68-5
官報公示整理番号 化審法:(2)-1553 安衛法:N/A

4. 応急措置

吸引した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合: 多量の水および石鹸で洗い流す。症状がでた場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。
目に入った場合: 直ちに多量の水で15分以上、注意深く洗い流すこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。直ちに医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。
応急処置をする者の保護: 個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

消化剤: 水スプレー(水噴霧)、二酸化炭素(CO₂)、泡、粉末消火剤、砂
火災時の特有危険有害性: 熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。
特有の消化方法: 利用可能な情報はない。
使ってはならない消火剤: 利用可能な情報はない。
消化を行なう者の保護: 個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消化装備を着用する必要がある。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。
環境に対する注意事項: 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
除去方法: 飛散したものを掃き集めて、密閉できるから容器に回収する。こぼした場合は、ウエス、雑巾等で拭き取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い: 技術的対策:火気、高温、酸化剤を避ける。
注意事項:容器を転倒させ落下させ衝撃を与えまたは引きずる等の粗暴な扱いをしない。濡れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵を発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。取扱後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
保管: 適切な保管条件: 容器を密栓して冷蔵庫に保管する。不活性ガスを充填する。湿気を避ける。酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。
安全な容器包装材料: ポリエチレン

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度： 作業環境評価基準：設定されていない
 設備対策： 粉塵が発生する場合は発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を表示する。

保護具

呼吸器の保護具： 保護マスク、簡易防塵マスク等
 手の保護具： 保護手袋
 目の保護具： 側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡)
 皮膚及び身体の保護具： 保護衣、保護長靴
 適切な衛生対策： 産業衛生および安全の基準に基づいて取扱う。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など： 液体
 形状： 透明
 色： 無色～ほとんど無色
 臭い： ほとんど無臭
 pH： データなし
 融点・凝固点： データなし
 沸点、初留点及び沸騰範囲： データなし
 引火点： 93.0° C タグ密閉法
 蒸発速度： データなし
 蒸気圧： データなし
 比重(相対密度)： データなし
 溶解度： データなし
 自然発火温度： データなし
 爆発限界： データなし
 オクタノール/水分配係数 log/w: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性： データなし
 安定性： 光により変質するおそれがある。
 避けるべき条件： 高温と直射日光、熱、炎、火花、静電気、スパーク
 混触危険物質： 強酸化剤
 危険有害な分解性生物： 一酸化炭素(CO)、二酸化炭素(CO₂)、硫黄酸化物(SO_x)

11. 有害性情報

急性毒性： イソプロピルアミン塩酸塩 ipr-mus LD50:>1 g/kg
 1-ヒドロキシベンゾトリアゾール水和物 orl-rat LDLo: 5 g/kg
 ジメチルスルホキシド orl-rat LD50 14500mg/kg, skn-rat LD50:40 g/kg,
 ipr-rat LD50:8200 mg/kg, ivn-rat LD50:5360 mg/kg
 皮膚腐食性・刺激性： イソプロピルアミン塩酸塩 データなし
 1-ヒドロキシベンゾトリアゾール水和物 データなし
 ジメチルスルホキシド skn-rbt 10 mg/24H open MLD
 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性： イソプロピルアミン塩酸塩 データなし
 1-ヒドロキシベンゾトリアゾール水和物 eye-rbt 100 mg MLD
 ジメチルスルホキシド eye-rbt 500 mg/24H MLD
 皮膚感作性： データなし
 生殖細胞変異原性： イソプロピルアミン塩酸塩 データなし

発がん性:	1-ヒドロキシベンゾトリアゾール水合物 データなし ジメチルスルホキシド mmo-esc 551 g/L (-S9), mmo-omi 111 g/L (S9), mmo-sat 25 pph (+S9), oms-hmn lym 140 mmol/L イソプロピルアミン塩酸塩 データなし
生殖毒性:	1-ヒドロキシベンゾトリアゾール水合物 データなし ジメチルスルホキシド orl-rat TDLo:59 g/kg/81W -I, scu-mus TDLo:66 g/kg/66W -I IARC = データなし NTP = データなし イソプロピルアミン塩酸塩 データなし
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露):	1-ヒドロキシベンゾトリアゾール水合物 データなし ジメチルスルホキシド ivn-ham TDLo:2500 mg/kg(8D preg), orl-ham TDLo:11 g/kg(7D preg), ipr-rat TDLo:6600 mg/kg(7-15D preg), scu-rat TDLo:30750 mg/kg(8-10D preg)
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露):	データなし
吸引性呼吸器有害性:	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性:	ジメチルスルホキシド 藻類/水生植物:N/A 魚:48h LC50:33000 ppm (Oryzias latipes) 甲殻類:N/A
生態毒性:	利用可能な情報はない
その他のデータ:	データなし
残留性/分解性:	利用可能な情報はない
生体蓄積性:	利用可能な情報はない
土壤中の移動性:	利用可能な情報はない
オゾン層への有害性:	利用可能な情報はない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:	廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。
汚染容器及び包装:	廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

14. 輸送上の注意

注意事項:	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にこなう。
IATA(航空):	規制されていない。 国連番号:- 品名 国連分類 副次危険性 容器等級 環境有害物質:非該当
ADR/RID(陸上):	規制されていない。 国連番号:- 品名 国連分類 副次危険性 容器等級

IMDG(海上): 海洋汚染物質:非該当
規制されていない。
国連番号:-
品名
国連分類
副次危険性
容器等級
海洋汚染物質:非該当
MARPOL73/78 や IBC コードに則ったバルクの輸送:利用可能な情報はない

15. 適用法令

消防法:	危険物第四類 第三石油類 危険等級Ⅲ 水溶性
毒物及び劇物取締法:	非該当
労働安全衛生法:	非該当
船舶安全法:	非該当
航空法:	非該当
海洋汚染防止法:	非該当
土壌汚染防止法:	非該当
化学物質管理促進法 (PRTR 法):	非該当

16. その他の情報

引用

安衛法化学物質情報(安全衛生情報センター)

物質データベース(日本化学工業協会)

PRTR 制度対象物質データベース(化学物質安全管理センター)

毒物及び劇物取締法(毒劇法) データベース(国立医薬品食品衛生研究所)

化学物質安全情報提供システム(神奈川県環境科学センター)

NITE 製品評価技術基盤機構ホームページ(化学物質及び法令検索)

日本試薬協会所属試薬メーカーの SDS(「日本試薬協会 SDS の検索」ホームページ)

日本産業衛生学会勧告値

(「日本産業衛生学会」ホームページ、情報検索:許容濃度等の勧告(OELs))

Chemical Abstracts Service オンライン検索(“MSDS-OHS”file in STN)

原材料メーカーの安全データシート

IATA 航空危険物規則書 第 59 版邦訳

製品評価技術基盤機構 <http://www.safe.nite.go.jp/ghs/list.html>

本書の内容は、法規改正、新しい知見や情報入手、試験等により改定されることがあります。

記載内容は現時点で入手できた資料や文献などの情報に基づいて作成しておりますが、記載の含有量、物理化学的性質等の数値や評価に関しては如何なる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の実施を対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合は、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上取扱い願います。

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名: Reagent B (SialoCapper-ID Kit)
P/N 225-42160-58-B
1-(3-ジメチルアミノプロピル)-3-エチルカルボジイミド塩酸塩

会社名: 株式会社島津製作所
住所: 〒604-8511 京都市中京区西ノ京桑原町1
担当部門: 分析計測事業部 ライフサイエンス事業統括部 MS ビジネスユニット
電話番号: 075-823-1334
FAX 番号: 075-811-8187
用途及び使用上の制限: 研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS 分類: 急性毒性(経口): 区分 4
皮膚腐食性及び皮膚刺激性: 区分 2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分 2 A

GHS ラベル要素:



注意喚起語: 警告

危険有害性情報: H302 飲み込むと有害
H315 皮膚刺激
H319 強い眼刺激

注意書き: **【安全対策】**
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
保護手袋および保護眼鏡、保護面を着用すること。

【応急措置】
飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。口をすすぐこと。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易にはずせる場合は外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

【保管】
非該当。

【廃棄】
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

【その他】
他の危険有害性: データなし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別: 単一物質

化学名(または一般名): 1-(3-ジメチルアミノプロピル)-3-エチルカルボジイミド塩酸塩
濃度又は濃度範囲: >98.0% (N)(T)
CAS No. 25952-53-8
官報公示整理番号 化審法:(2)-1696 安衛法:公表化学物質

4. 応急措置

吸引した場合:	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合:	多量の水および石鹸で洗い流す。症状がでた場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。
目に入った場合:	直ちに多量の水で15分以上、注意深く洗い流すこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。直ちに医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合:	口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。
応急処置をする者の保護:	個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

消化剤:	水スプレー(水噴霧)、二酸化炭素(CO ₂)、泡、粉末消火剤、砂
火災時の特有危険有害性:	熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。
特有の消化方法:	利用可能な情報はない。
使ってはならない消火剤:	利用可能な情報はない。
消化を行なう者の保護:	個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消化装備を着用する必要がある。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。
環境に対する注意事項:	漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
除去方法:	飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。こぼした場合は、ウエス、雑巾等で拭き取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い:	技術的対策:取扱いは換気のよい場所で行う。 適切な保護具を着用する。 粉塵が飛散しないように注意する。 取扱い後は手や顔などをよく洗う。 注意事項:粉塵やエアゾールが発生する場合には、局所排気を用いる。
保管:	安全取扱い注意事項:皮膚、眼、衣服との接触を避ける。個人用保護具を着用すること。 適切な保管条件:容器を密栓して冷蔵庫に保管する。不活性ガスを充填する。湿気を避ける。酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。
避けるべき保管条件:	熱、湿気
安全な容器包装材料:	法令の定めるところに従う。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度:	作業環境評価基準: 設定されていない。
設備対策:	作業者が直接暴露されないように、できるだけ密閉化した設備又は局所排気装置を設ける。取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。

保護具

呼吸器の保護具:	保護マスク、簡易防塵マスク等
手の保護具:	保護手袋
目の保護具:	側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡)
皮膚及び身体の保護具:	保護衣、保護長靴

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など:	個体
形状:	結晶～粉末
色:	白色
臭い:	データなし
融点・凝固点:	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲:	115 °C
引火点:	データなし
蒸気圧:	133 Pa/20 °C
比重(相対密度):	データなし
溶解度:	水:易溶 その他の溶剤:可溶 アルコール, ジメチルホルムアミド
自然発火温度:	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性:	適切な条件下においては安定
危険有害反応可能性:	特別な反応性は報告されていない。
避けるべき条件:	高温と直射日光、湿気
混触危険物質:	酸化剤、強酸
危険有害な分解性生物:	一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、塩化水素

11. 有害性情報

急性毒性:	ivn-mus LD50:56 mg/kg
皮膚腐食性・刺激性:	データなし
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性:	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性:	データなし
生殖細胞変異原性:	データなし
発がん性:	データなし
生殖毒性:	データなし
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露):	データなし
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露):	データなし
吸引性呼吸器有害性:	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性:	魚類:データなし 甲殻類:データなし 藻類:データなし 残留性/分解性:データなし 生体蓄積性(BCF):データなし
土壌中の移動性	オクタノール/水分配係数:データなし 土壌吸着係数(Koc):データなし ヘンリー定数(PaM3/mol):データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物: 廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。
汚染容器及び包装: 廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

14. 輸送上の注意

注意事項: 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にこなう。

IATA(航空): 規制されていない。
国連番号:-
品名
国連分類
副次危険性
容器等級
環境有害物質:非該当

ADR/RID(陸上): 規制されていない。
国連番号:-
品名
国連分類
副次危険性
容器等級
海洋汚染物質:非該当

IMDG(海上): 規制されていない。
国連番号:-
品名
国連分類
副次危険性
容器等級
海洋汚染物質:非該当
MARPOL73/78 や IBC コードに則ったバルクの輸送:利用可能な情報はない

15. 適用法令

なし。

16. その他の情報

引用

安衛法化学物質情報(安全衛生情報センター)

物質データベース(日本化学工業協会)

PRTR 制度対象物質データベース(化学物質安全管理センター)

毒物及び劇物取締法(毒劇法) データベース(国立医薬品食品衛生研究所)

化学物質安全情報提供システム(神奈川県環境科学センター)

NITE 製品評価技術基盤機構ホームページ(化学物質及び法令検索)

日本試薬協会所属試薬メーカーの SDS(「日本試薬協会 SDS の検索」 ホームページ)

日本産業衛生学会勧告値

(「日本産業衛生学会」ホームページ、情報検索:許容濃度等の勧告(OELs))

Chemical Abstracts Service オンライン検索(“MSDS-OHS”file in STN)

原材料メーカーの安全データシート

IATA 航空危険物規則書 第59版邦訳

製品評価技術基盤機構 <http://www.safe.nite.go.jp/ghs/list.html>

本書の内容は、法規改正、新しい知見や情報入手、試験等により改定されることがあります。

記載内容は現時点で入手できた資料や文献などの情報に基づいて作成しておりますが、記載の含有量、物理化学的性質等の数値や評価に関しては如何なる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであり、特殊な手扱いをする場合は、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上手扱い願います。

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名:	Reagent C (SialoCapper-ID Kit) 25%以下 メチルアミン溶液 P/N: 225-42160-58-C
会社名:	株式会社島津製作所
住所:	〒604-8511 京都市中京区西ノ京桑原町1
担当部門:	分析計測事業部 ライフサイエンス事業統括部 MSビジネスユニット
電話番号:	075-823-1334
FAX 番号:	075-811-8187
用途及び使用上の制限:	研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS 分類:	引火性液体 : 区分 3 急性毒性(経口): 区分 3 皮膚腐食性及び皮膚刺激性: 区分 1 特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 1(呼吸器系) 特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 2(呼吸器系・肝臓)
---------	---

GHS ラベル要素:



注意喚起語:	危険
危険有害性情報:	H226 引火性液体及び蒸気 H301 飲み込むと有毒(経口) H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷 H370 呼吸器系の障害 H373 長期にわたる又は反復ばく露による呼吸器系, 肝臓の障害のおそれ

注意書き:	【安全対策】 <ul style="list-style-type: none">・熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。・容器を密閉しておくこと。・火災を発生させない工具を使用すること。・静電気放電に対する予防措置を講ずること。・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。・取扱い後は 手を よく洗うこと。・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 【応急措置】 <ul style="list-style-type: none">・飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。・飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。・皮膚 又は 髪 に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。・吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。・眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。・ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。・気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。・火災の場合: 消火するために 水噴霧, 二酸化炭素, 泡, 粉末消火剤, 砂 を使用すること。 【保管】
-------	---

- ・換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- ・施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・内容物および容器は承認された廃棄物処理場に廃棄すること。

【その他】

- ・ほかの危険有害性の情報はなし。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別:	混合物
化学名(または一般名):	・メチルアミン 含有量 15-17% CAS No. 74-89-5 官報公示整理番号 化審法:2-129 安衛法:N/A ・水 CAS No. 7732-18-5 官報公示整理番号 化審法:N/A 安衛法:N/A
不純物または安定化添加剤:	非該当

4. 応急措置

吸引した場合:	新鮮な空気のある場所に移動させ安静に努め、直ちに医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合:	多量の水で石鹸を用いて洗う。炎症を生じた時は医師の手当を受ける。
目に入った場合:	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合:	口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。
応急処置をする者の保護:	個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

消化剤:	水スプレー(水噴霧)、二酸化炭素(CO ₂)、泡、粉末消火剤、砂
火災時の特有危険有害性:	火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム(またはガス)を放出するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な防護具を着用する。
特有の消化方法:	火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。
消化を行なう者の保護:	消火活動は風上から行い、状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項:	漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
除去方法:	乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。
回収、中和:	利用可能な情報はない。
二次災害の防止策:	環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い:	技術的対策:火気厳禁。高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触を避ける。局所排気装置を使用すること。 注意事項:容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩
------	---

場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいけません。取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
安全取扱注意事項: 吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。
保管: 適切な保管条件: 容器を密栓して冷蔵庫に保管する。不活性ガスを充填する。湿気を避ける。酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。
安全な容器包装材料: ポリエチレン
混触禁止物質: 強酸化剤

8. ばく露防止及び保護措置

ばく露限界
化学名: メチルアミン 74-89-5
日本産業衛生学会: TWA:10 ppm OEL TWA:13mg/m³ OEL
管理濃度: N/A
米国産業衛生専門家会議(ACGIH): STEL:15ppm TWA:5ppm
設備対策: 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
保護具
呼吸器の保護具: 防塵マスク
手の保護具: 保護手袋
目の保護具: 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具: 長袖作業衣
適切な衛生対策: 産業衛生および安全の基準に基づいて取扱う。

9. 物理的及び化学的性質

形状: 液体
色: 無色～ほとんど無色
臭い: 特異臭
pH: 塩基性
融点・凝固点: データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲: データなし
引火点: 48.5℃(タグ密閉法)
蒸気圧: データなし
比重(相対密度): データなし
溶解度: 水、エタノールと混和する。
自然発火温度: データなし
爆発限界: データなし
オクタノール/水配分係数 logPo/w: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性: データなし
安定性: 光により変質するおそれがある。
危険有害反応可能性: アルミニウム、亜鉛、銅に対して腐食性を示す。
避けるべき条件: 高温と直射日光、熱、炎、火花
混触危険物質: 強酸化剤
危険有害な分解性生物: 一酸化炭素(CO)、二酸化炭素(CO₂)、窒素酸化物(NO_x)、アンモニア

11. 有害性情報

急性毒性: 経口 LD50: 100mg/kg (Rat)
吸入 LC50: 4400 mL/m³ (Rat) 4 h

皮膚腐食性・刺激性:	データなし
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性:	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性:	データなし
生殖細胞変異原性:	データなし
発がん性:	データなし
生殖毒性:	データなし
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露):	データなし
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露):	データなし
吸引性呼吸器有害性:	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性:	メチルアミン 藻類/水生植物 N/A 魚 N/A 甲殻類 EC50:Daphnia magna 163 mg/L 48 h
残留性/分解性:	データなし
生態蓄積性:	データなし
土壤中の移動性:	データなし
オゾン層への有害性・移動性:	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:	廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。
汚染容器及び包装:	廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

14. 輸送上の注意

注意事項:	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にこころなう。
IATA(航空):	国連番号:1235 品名:メチルアミン(水溶液) 国連分類:3 副次危険性:8 容器等級:II 環境有害物質:非該当
ADR/RID(陸上):	国連番号:1235 品名:メチルアミン(水溶液) 国連分類:3 副次危険性:8 容器等級:II 海洋汚染物質:非該当
IMDG(海上):	国連番号:1235 品名:メチルアミン(水溶液) 国連分類:3 副次危険性:8 容器等級:II

海洋汚染物質:非該当

MARPOL73/78 や IBC コードに則ったバルクの輸送:利用可能な情報はない

15. 適用法令

消防法:	危険物第4類 第2石油類 危険等級Ⅲ 水溶性
毒物及び劇物取締法:	非該当
労働安全衛生法:	《メチルアミン》名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) No.568 《メチルアミン》名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法57条、施行令第18条)
化審法:	《メチルアミン》優先評価化学物質(法第2条第5項)
危険物船舶運送及び貯蔵規則:	引火性液体
航空法:	引火性液体
海洋汚染防止法:	《メチルアミン》施行令別表第1 有害液体物質 Y 類物質
大気汚染防止法	《メチルアミン》有害大気汚染物質
PRTR 法	《メチルアミン》第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1) No.423

16. その他の情報

メチルアミン含有量について

原料の40%メチルアミンの仕様が38-42%であり、製造時の許容誤差を載せ15-17%とする。

引用

安衛法化学物質情報(安全衛生情報センター)

物質データベース(日本化学工業協会)

PRTR 制度対象物質データベース(化学物質安全管理センター)

毒物及び劇物取締法(毒劇法) データベース(国立医薬品食品衛生研究所)

化学物質安全情報提供システム(神奈川県環境科学センター)

NITE 製品評価技術基盤機構ホームページ(化学物質及び法令検索)

日本試薬協会所属試薬メーカーのSDS(「日本試薬協会 SDS の検索」ホームページ)

日本産業衛生学会勧告値

(「日本産業衛生学会」ホームページ、情報検索:許容濃度等の勧告(OELs))

Chemical Abstracts Service オンライン検索(“MSDS-OHS”file in STN)

原材料メーカーの安全データシート

IATA 航空危険物規則書 第59版邦訳

製品評価技術基盤機構 <http://www.safe.nite.go.jp/ghs/list.html>

本書の内容は、法規改正、新しい知見や情報入手、試験等により改定されることがあります。

記載内容は現時点で入手できた資料や文献などの情報に基づいて作成しておりますが、記載の含有量、物理化学的性質等の数値や評価に関しては如何なる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであり、特殊な手扱いをする場合は、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上手扱い願います。